

令和6年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰



受賞者 紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは、緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

令和6年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

みょうこうさとやま ほ ぜん

妙高里山保全クラブ(新潟県妙高市)

同団体は、平成16年の設立以来、「市民の憩える里山モデル林」を目指して、地域の雑木林や森林公園の整備等を行っています。

妙高山麓の小丸山において人の手が入らず荒れていた里山林の手入れを継続的に行った結果、林内に再び光や風が差し込み、希少なササユリ等が見られるまで再生しました。また、園児を対象としたシイタケの駒打ち・収穫体験や小学生を対象とした森林教室を実施するほか、チェーンソーの安全操作講習を実施して会員の技術向上を図るなど、里山の再生とともに、緑化意識の向上や人材育成にも積極的に取り組んでいます。



妙高里山保全クラブの皆さん



シイタケの駒打ち体験



チェーンソーの安全操作講習

過去の受賞者については林野庁Webサイトをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html



人と森をつなぐ情報誌



2025
No.216

表紙の写真：ミヤマザクラ(提供：森林総合研究所 北海道支所)

Webアンケートにご協力をお願いします!

<https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202503.html>



Contents

- 3 **特集** 林業イノベーションの推進に向けた「森ハブ」の取組について
- 8 TOPICS 01 令和7年全国山火事予防運動
- 10 TOPICS 02 「みんなで選ぶ、森林シューセキ! Award」を開催しました
- 12 フォレスター(森林総合監理士)活動書記 地域材の利用拡大に向けた川上から川下までをつなぐ仕組みづくり
- 14 海外・現場最前線からの便り ラオス～Simply Beautiful 緑豊かな土地を目指す国での開発支援～
- 16 国有林野事業の取組 大井川流域の治山事業の歩み
- 18 新みどりの大使が行く! 「2025 ミス日本みどりの大使」が誕生!